

会議録（案）

会議の名称	西東京市立ひばりが丘中学校及び西東京市立田無第二中学校 通学区域見直し等に関する地域協議会（第3回会議）
開催日時	平成29年7月11日（火） 午前10時00分から午前11時40分まで
開催場所	田無庁舎5階 503会議室
出席者	<委員>真鍋 五十鈴、赤澤 賢一、喜多見 郷子、勝見 俊也、志水 郁子、中平 由美子、加瀬 裕子、井上 雅子、本名 修也、安形 麻 理、高野 富、内野 未来、野崎 信行、佐藤 裕子、広野 園枝、永井 昌史、諸岡 浩、高柳 徹、菅家 淳子、屋宮 茂穂（順不同・敬称略） <事務局>早川礼成（教育企画課長）、大谷健（教育企画課課長補佐兼学 務係長）、根岸伸太郎（教育企画課学務係主査）、和田克弘（教育企画課 企画調整係長）
傍聴者	1人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 通学区域の見直しについて 4 その他 5 閉会
会議資料の 名称	資料1 地域協議会（第2回会議）会議録（案） 資料2 現通学区域と変更区域の確認表 資料3 ひばりが丘中学校の建替に伴う通学区域の見直しに係る 学級数推計 資料4 学年進行による中学校入学年度の確認表 資料5 今後の事務手続、必要な検討事項について 参 考 通学区域地図
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>開会</p> <p>議題2 会議録の確認 ○会長：第2回の会議録（案）について、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。 ○委員：（異議なし） ○会長：それでは正式な会議録とする。</p> <p>議題3 通学区域の見直しについて ○事務局：資料2から4及び通学区域地図に基づき説明。 ○会長：感想や質問があれば発言願いたい。 ○委員：資料3の【委員からの追加要望】の説明について</p>	

- 委員：田無二中の学級運営上の適正規模は、少人数教育の観点などを考慮すると概ね12から13学級と考えている。【委員からの追加要望】の案では、田無二中が16学級となるため、適正な学級数を超過している。
- 会長：ひばりが丘中は、各学年5学級ずつの15学級を適正規模と考えている。学級数が超過した場合、少人数教室は視聴覚教室等で代用する。

○委員：資料2の見方について

- 事務局：網掛けの二重丸(◎)のある町名が、通学区域変更に伴い、これまでの中学校区から変更となる。一例として、上から5丁目、住吉町一丁目在住の児童は、ひばりが丘中へ進学予定であったが、1案から3案まで全ての案で、田無二中への進学に変更となる。

さらに、点線(_____)から下段の町名は、「丁目」より細かい「番地」によって分割される。一例として、谷戸町一丁目在住の児童は、2案の場合のみ点線から上段に二重丸の記載がある。この場合、全ての児童が現行どおり田無二中へ進学する。また、1案及び3案の場合は、点線から下の2段に記載があり、谷戸町一丁目18～27番の児童はひばりが丘中へ、谷戸町一丁目18～27番以外の児童は田無二中へ、それぞれ進学することとなる。

<各小・中学校の委員を1グループとして、3案に対するメリット、デメリットを中心とする意見交換、発表>

- 会長：3案に対する将来像を踏まえたご意見を伺いたい。
- 委員（ひばりが丘中）：3案は、谷戸新道を渡らないで済むが、住宅地のため通学距離が遠回りとなる。1案は、3案よりも通学距離が近くなるが、谷戸新道を渡ることとなる。
- 委員（田無二中）：1，2案の場合、小学校区域が分かれてしまう。小・中連携教育が複雑になることが問題。
- 委員（住吉小）：小・中連携教育や小学校からの友人関係の継続の観点から、住吉町二丁目、三丁目を田無二中へ変更したらどうか。
- 委員（谷戸二小）：1案で、谷戸町一丁目の谷戸学童クラブ付近を田無二中の学区へ変更したらどうか。また、せせらぎ公園付近の通学区域が気になる。どの案も厳しい印象。（仮称）第10中学校附近のマンションや郵政跡地の動向を考慮しているのか。
- 事務局：マンション等の開発動向を考慮している。
- 委員（中原小）：どの案もひばりが丘中へ進学予定。
- 委員（谷戸小）：いずれの案もまとめてひばりが丘中へ進学することができる。谷戸幼稚園の裏側の住民は、ひばりが丘中へ進学を希望するのでは。
- 委員（保谷小）：学区のバランスの観点から1，2案が好ましい。せせらぎ公園付近のマンション群の位置を考えると、2案がより良いと思う。
- 委員（保谷小）：本校は、3つの中学校へ進学する。児童は、中学校の進学先が分かれることに違和感がない様子。
- 委員（田無小）：1，2案の場合、両中学校の学級数が安定して良い。
- 会長：（谷戸二小）谷戸二小の東側の1ブロックを、田無二中からひばりが丘中の学区へ変更したらどうか。
- 会長：全体を通して、さらにご意見を伺いたい。

- 委員：谷戸二小の東側の1ブロックを変更して、1案の修正案が考えられる。
- 事務局：後日、改めて案を提示したい。
- 委員：小中連携教育の観点からも考慮する必要がある。
- 委員：小学校からの友人関係の継続と中学校からの多様な人間関係とのバランスはどうか。
- 副会長：中学校への進学について、最初は同じ小学校からの友人関係が継続されるが、1学期の途中あたりから、元の小学校を感じさせなくなるような人間関係を形成している。あまり違和感なくスタートできると思う。
- 会長：市内中学校での在任経験から、当初はまとまりを作るのが大変で、元の小学校それぞれの文化があるものの、徐々に新たな友達関係が築かれていく。中学校において、新たな交流を通じた教育的機会も必要。

- 委員：保護者どうしの関係も重要。また、小学校から中学校へ進学するとき、少数の小学校区から進学した子どもへの配慮が必要。
- 委員：住吉小学校の設置の経緯として、谷戸新道を渡って通学する危険性への配慮があった。安全面から3案が好ましい。中原、谷戸地域の文化を活かせる。また、郵政跡地のマンションの開発動向が気になる。人口推計はどうなっているか。安全面などから再度案を検証してもらいたい。
- 事務局：改めて案をお示ししたい。

- 委員：ある程度まとまって中学校へ進学することが理想。親の代から本校に通っている方が多く、田無二中への進学が既定路線となっている。中学校移転の時期に在籍予定の生徒について配慮が必要。アンケートを実施したらどうか。
また、田無町三丁目の生徒は大通りを渡るため、安全面での注意が必要。
- 会長：意見の聴取について、今後の課題としたい。

- 委員：早めの情報提供が必要だが、中途半端な内容で不安をあおるようでは困る。良いタイミングで情報提供をすることが大事。多くの方は、感覚的に中学校の進学先が変更とならないことが好ましいと思う。
- 事務局：今後、情報提供の資料内容及びタイミングを伺っていきたい。
- 会長：先日発行した学校だよりでは、建替校の概略図、スケジュールを掲載した。皆さんの意見をすいあげていくことが大切。
- 委員：スケジュールを知りたい。
- 事務局：平成33年度の途中での引越しを予定している。
- 委員：移転後のひばりが丘中の位置、地図を示してほしい。
- 委員：スケジュールは、中原小の建替に関することを含めて示してほしい。

- 事務局：今後の事務手続、必要な検討事項について
資料5に基づき説明

議題5 その他

- 事務局：今後の予定について。

閉会